

【全訳】

こんにちは、みなさん！ 食べ物を捨てたことがありますか。食べ物を皿に残したことはありますか。実際に私はあります。私の家族と私は食べることが大好きで、お店でたくさんの食品を買います。私たちはふつうその食品を全部食べますが、ときどき、おいしくない食品があることに気づき、それを捨てます。これは、食品ロスの1つの例です。世界中で人々は毎日とてもたくさんの食品を捨てます。その食品のうちのいくらかは私たちの健康にとってあまりよくないので、もし私たちがそれを食べたら病気になるかもしれません。そのことは事実です。

しかし、人々は、それがまだよい状態であるときにもあまりにもたくさんの食品を捨てます。一方で、貧しい国々には十分な食べ物がなく人々もいます。⑦食品ロスは、今日の世界で大きな問題の1つです。私は、私たちみんなが、それについて考えるべきだと思います。

ある調査は、日本では1人につき毎日茶わん1杯分の食品を捨てていることを示しています。このことは、この国で1年間に総計で約600万トンの食品を捨てていることを意味します。⑧そして、そのほぼ半分が私たちの家庭からのものです。もし私たちがその食品のいくらかを貧しい国々に送れば、私たちはそのたくさんの人々を助けることができます。

なぜ私たちはそんなにたくさん捨てるのでしょうか。グラフ1は、食べ物を捨てる理由を示しています。

グラフ1 食べ物を捨てる理由

調理のときの過剰除去	51%	食べ残し	27%
期限切れ	20%	その他	2%

このグラフでは、「調理のときの過剰除去」は、主に調理のときに食品の多くの箇所を取り除きすぎることを意味します。そして「期限切れ」は、古くなって悪くなってしまったために食品を食べられないことを意味します。⑨-A私たちはこの理由についてまず考えるべきだと、私は思います。さて、グラフ2を見てください。

グラフ2 食品はいつ捨てられるか

賞味期限前	24%		
賞味期限後	1 週間以内	19%	2 週間以内 7 %
	1 か月以内	10%	半年以内 16%
	半年以上	24%	

このグラフは、たくさんの食べ物が、賞味期限前にも捨てられていることを示しています。私は、それが最もむだであると思います。

では、私たちは食品ロスを減らすために何をすべきでしょうか。まず、私たちは、もしすぐに食べるつもりがないなら、食品を買いすぎるのをやめるべきです。次に、私たちは、皿の上の食べ物を全部食べようとすべきです。

先日、私がレストランで家族と夕食を食べていたとき、別のテーブルの女性が、給仕に箱を手渡しました。給仕は、その箱といくつかの皿を彼女のテーブルから調理場へ持って行きました。数分後、給仕はその箱を持って戻ってきて、それを女性に手渡しました。私の父は小さな声で私に言いました。「あの女性はあとで食べるために、食べ残しを家に持って帰るんだよ」。

⑩-C私は驚きましたが、それはよいことだと思いました。それはとても小さなことですが、私たちはそれぞれそのようにして食品ロスを減らすことができます。

ありがとうございました。

【全訳】

ショウタは中学生です。彼は新しい英和辞典が必要です。彼はクラスメートのケビンにそのことを話します。

ショウタ：やあ、ケビン！ 助けてくれないか。

ケビン：いいよ。どうしたんだい？

ショウタ：新しい英和辞典を買いたい。どんな辞書がいいかな？

ケビン：ええと、電子辞書と紙の辞書のどちらを探しているの？

ショウタ：わからない。きみはどっちの辞書を使っているの？

ケビン：はくは、よく電子辞書を使っているよ。

ショウタ：なぜそれを使うんだい？

ケビン：まず、それは小さくて軽い。だから簡単に持ち運べるんだ。2番目に、①電子辞書を使えば、すばやく単語を見つけられる。単語のほんの一部分をタイプすれば、単語とその意味を見つけることができる。

ショウタ：わあ、それはとても便利だね。

そのとき、クラスメートのアケミが彼らのところへ来ます。

アケミ：こんにちは、ショウタ、ケビン！ 何の話をしているの？

ショウタ：ケビンが電子辞書のよいところをほくに教えてくれているんだ。アケミ、きみは以前それを使ったことがある？

アケミ：ええ。でも、私はそれをそんなに気に入ってないわ。

私は紙の辞書のほうが好きよ。

ケビン：なぜかな？ 電子辞書はとても便利だよ。

アケミ：知っているわ。でも紙の辞書の各ページにはたくさんの単語があるの。ある単語を探すときに、多くのほかの単語も目にするのよ。それらを見ることで、無意識のうちに私たちはたくさんの単語を学ぶことができると思うの。

ショウタ：本当かい？

アケミ：ええ。先日、「difficult」という単語を辞書で調べていると、もう1つ別の単語“different”を見つけたわ。私は、それに興味を覚えて、2つの単語の意味を学んだの。そのあと教科書で初めてその“different”という単語を見たとき、私は簡単にその意味を思い出したのよ。

ショウタ：それはいいね。それなら“different”という単語を辞書でもう一度調べる必要がなかったということだよな？

アケミ：そうよ。それに電子辞書のディスプレイはとても小さいわ。

一度にほんの数行しか目に入らないわ。

ケビン：アケミ、きみは正しいかもしれない。紙の辞書ならたくさんの情報を見ることができる。でも、各単語はとても小さい。はくはよく紙の辞書で間違った行を読んでしまうよ。

アケミ：それについては同意するわ。実際に、私もときどき大事な意味を見落とすの。

ショウタ：電池はどうだい？ 電池が切れたら、それは使えないよ。紙の辞書は電池は不要だよ、そうだろう？

ケビン：そうだね。でも1つの電池を長い時間使い続けられるし、もう1つ別の電池を持ち運ぶこともできる。②それについてそれほど心配しなくていい。もちろん、電池は小さくて軽いし。

ショウタ：わかった。ほかに何かあるかい？

アケミ：ほとんどの電子辞書は紙の辞書より高いわよ。

ケビン：でも、1つの電子辞書は、ふつういくつかの異なった辞書として機能するよ。だからきみは、そんなに多くの辞書を持ち歩く必要がないんだ。

ショウタ：わかった。ありがとう、ケビン、アケミ。2種類の辞書のよい点と悪い点を書いてみるよ。

ショウタは表を作ります。アケミとケビンがそれを見ます。

	電子辞書	紙の辞書
よい点	・小さくて軽い ・すばやく単語が見つかる ・数種類の辞書として機能する	・各ページに多くの単語がある ・情報が多い ・電池がいらない
悪い点	・ディスプレイが小さい ・値段が高い	・各単語がとても小さい ・たくさんの辞書を持ち歩かないといけない

ショウタ：さあ、それぞれの辞書にはよい点と悪い点があるのがわかった。決断する前にそれらについてよく考えるべきだね。そして、もしできるなら、両方買うべきかもしれない。

ケビン：はくもそう思う。

アケミ：お母さんに頼むべきだよ！

Q6 (ア) 4 (イ) 3 (ウ) 4・6

Q8 (ア) 4 (イ) 2 (ウ) 2・5